

バイオマス資源生産を目指した
水面被覆植物とイネとの共存生態系の構築

(課題番号：14560279)

平成 14 年度・15 年度

文部科学省科学研究費補助金

(基盤研究 (C) (2)) 一般

平成 16 年 3 月

研究代表者 坂 井 直 樹

(筑波大学農林学系教授)

バイオマス資源生産を目指した
水面被覆植物とイネとの共存生態系の構築

(課題番号：14560279)

平成 14 年度・15 年度

文部科学省科学研究費補助金

(基盤研究 (C) (2)) 一般

平成 16 年 3 月

研究代表者 坂 井 直 樹

(筑波大学農林学系教授)

1. 研究種目 基盤研究 (C) (2)
2. 課題番号 14560279
3. 研究課題 バイオマス資源生産を目指した水面被覆植物とイネとの共存生態系の構築
4. 研究組織
- 研究代表者 坂井直樹 (筑波大学農林学系教授)
(研究者番号 00092213)
- 研究分担者 林 久喜 (筑波大学農林学系講師)
(研究者番号 70251022)
5. 研究経費
- | | |
|----------|----------|
| 平成 14 年度 | 2,100 千円 |
| 平成 15 年度 | 800 千円 |
| 計 | 2,900 千円 |
6. 研究発表
- ①坂井直樹・増田和幸・林 久喜：バイオマス資源生産を目指した水面被覆植物とイネとの共存生態系の構築，農作業研究 38 (別 1); 25-26 (2003).
- ②根津久美・林 久喜・坂井直樹：イネとの共存生態系に及ぼす水面被覆植物の栽植密度の効果，農作業研究 39 (別 1); 23-24 (2004).
7. キーワード
- 持続性／水田／イネ／ホテイアオイ／複作／共存生態系／最適密度／炭素固定量／雑草

目次

	Page
第1章 緒言	1
1. 研究の背景と位置づけ	1
2. 研究の目的	5
3. 提案する方式の特徴と期待される成果	5
第2章 ホテイアオイとイネとの共存生態系の可能性	7
1. 目的	7
2. 材料および方法	7
3. 結果および考察	9
第3章 イネとの共存生態系に及ぼすホテイアオイの栽植密度の効果	16
1. 目的	16
2. 材料および方法	16
3. 結果および考察	22
4. 総合考察	45
第4章 結言	46
引用文献	48